



PERMISSION MANAGER

Microsoft 365のアクセス権を一元管理し、コンプライアンスを保護

SharePoint、Teams、OneDrive – 共同作業が活発になるほど、
アクセス権は静かに、そして指数関数的に増え続けます。



把握できているのはごく一部
まさに『**氷山の一角**』

データ漏えい
不正アクセス
コンプライアンス違反



水面下では、退職者に残されたままの権限、忘れられた外部共有リンク、「全員」グループ経由で意図せず公開されたファイル、などが日々蓄積し、攻撃対象となりうる領域を確実に拡大しています。

その多くは
気づいていなかった
アクセス権管理から
始まる・・・

M365の情報漏えいリスク低減とコンプライアンス向上を 365 Permission Managerで実現

- 🔍 探索 – アクセス権の状況をわかりやすく一覧で確認
- 👥 管理 – テンプレート、カスタム共有ポリシーを適用
- ⚠️ 監視、監査 – コンプライアンスポリシー違反の通知と対応



PERMISSION MANAGER

Microsoft 365における効果的なアクセス権管理のための強力な機能

大規模なアクセス権管理をシンプルに

Microsoft Teams、SharePoint、OneDrive全体にわたる組織のM365のアクセス権状況を完全に把握可能。高度なフィルタリングを使って、外部ユーザーやゲストがアクセスできるアイテム、または不適切なアクセス権を持つアイテムを素早く確認可能。

素早く対処

複数のサイトのアクセス権を一度に修正したり、適切な外部共有アクセスレベルを設定したり、会社全体に間接的なアクセスを提供するグループ（例：「全員」）のアクセスを特定、削除したりするためにクイックアクションを使用できます。ボタンひとつで孤立したユーザーのアクセス権を検索、削除することも可能。

コンプライアンスポリシーで制御を取り戻す

SharePoint、Teams、OneDriveのデータインフラのコンプライアンスを維持し、ユーザーによる機密情報の共有を防止したい場合、365 Permission Managerを使用し、すぐに使用可能な推奨手順やテンプレートとなるポリシーを適用するか、SharePointサイト、Teams、OneDriveアカウント向けにコンプライアンスポリシーをカスタム作成可能。オプションとして、管理者はサイトオーナー（ユーザー）に対してポリシー違反発生時の通知を有効にすることで責任委任も可能。

実効性のあるコンプライアンスを実現

ユーザーがコンプライアンスルールに違反した場合、監査機能を使って違反を承認または修正可能。修正すると、違反したアクセス権がユーザーまたはグループから削除。

毎日のダイジェストメール

テナントのステータスに関する関連情報と、過去24時間のコンプライアンス関連イベントのサマリーを、わかりやすくまとめた日次ダイジェストメールとして受信可能。

包括的なレポートを受信

365 Permission Managerが、文書化およびコンプライアンス目的のためのアクセス権メタデータを含むレポートを生成。匿名ユーザーが外部からアクセスできるファイルや、ゲストと共有されているファイルを表示可能。また、特定のグループやユーザーを選択し、そのユーザーがアクセスできるサイト、ファイル、フォルダの完全なリストを取得可能。

クイックインサイト

365 Permission Managerは、テナント内のコンプライアンス状況とアクティビティの傾向を把握可能なダッシュボードを提供。



05/26